

令和7年度 事業報告書

事業年度 令和7(2025)年4月1日 ~ 令和8(2026)年3月31日



社会福祉法人 平和の聖母

Our Lady of Peace Social Welfare Corporation

令和7年度 社会福祉法人平和の聖母 事業報告書

I. 法人理念および基本方針

1. 法人理念

かけがえのない尊厳ある人が集い、共に安らかに暮らし、共に学び成長し、共に働き喜び、聖母マリアのようにカトリックの愛の精神に根ざした社会福祉の開花を目指します。

2. 基本方針

1. 私たちは、一人ひとりの可能性と持てる力に応じた暮らしを支援し、家庭生活と社会生活のあらゆる面への参画に共にチャレンジします。
2. 私たちは、人と人との交わりや助け合いを通して、自己と他者が共に成長していく社会福祉の仕事に誇りを持ち、感謝します。
3. 私たちは、より効果的で人道的な経営を探求し、地域福祉を展開することで、広く共通善に貢献します。

3. 平和の聖母の祈り

わたしたち法人の名前をいただいた平和の聖母
人と人との平和を目指し
わたしたちがつねに
苦しむ方々、悲しむ方々、社会的に弱い立場の方々に心を合わせ
平和のために奉仕することができますように
また、わたしたち自身も
弱さのうちに生きる者であり、平和の聖母のご保護のうちに
歩み続けていくことができますように

II. 令和7年度事業報告における総括

生活支援ニーズの複雑化・多様化の進行や、生産年齢人口の減少に伴う福祉人材不足という課題に直面する中、本法人はカトリックの理念に基づき、利用者一人ひとりの尊厳を尊重した支援の充実と、地域共生社会の実現に向けた取組を推進した。利用者支援においては、高齢者および障がい者が地域において自立した生活を営み、社会参加を継続できるよう、地域移行等に関する意向確認の指針を策定するとともに、多様な課題を抱える利用者に対しても関係機関との連携により包括的な支援を展開した。また、人材確保および育成については、依然として厳しい状況が続く中、処遇改善に取り組んだ結果、一定の成果を上げることができた。一方で、採用活動および定着支援の強化並びに、今後増加が見込まれる人件費を踏まえた経営基盤の強化は、引き続き重要な課題である。さらに、地域との連携においては、地域子ども食堂の実施や、子育て世帯訪問支援事業、地域住民との地域連携推進会議の開催を通じて、支え合いの仕組みづくりに着手した。個別支援にとどまらず、地域全体で福祉を支える基盤整備に向けた意識醸成と関係構築が進展したことは、持続可能な福祉サービス提供体制の構築に向けた一歩といえる。加えて、厨房の労務委託契約を締結している業者より、年度途中で価格改定の申し入れがあった。高齢者施設および障がい者支援施設のいずれにおいても経営に大きな影響を及ぼす水準であったことから、食数および費用効率を精査した結果、障がい者支援施設において完全調理済み食品を導入した。これにより、食材準備や調理の負担が軽減され、業務効率化が進み、新たな委託業者と契約を締結した。なお、完全調理済み食品の品質については利用者からも概ね良好な評価を得ている。総じて、本年度は事業計画に基づき一定の成果を上げることができたが、増大・複雑化する福祉ニーズへの対応や人材確保、物価高騰など、経営上の課題は依然として大きい。今後も法人理念に基づく実践を継続するとともに、地域との連携を一層強化し、質の高い福祉サービスの提供と持続可能な運営体制の確立に取り組んでいく必要がある。以上を踏まえ、令和7年度の事業報告とする。

III. 令和7年度事業報告における重点項目

1. 福祉人材確保と職員の処遇改善を目的とした初任給および本俸の引き上げ

昨今の福祉人材不足に対応するため、処遇改善を目的として初任給および本俸を引き上げた。具体的には、賞与予算や従来処遇改善加算手当を本俸に組み込み、基本給の大幅なベースアップと昇給を実施した。また、正職員の俸給表を最新の国家公務員俸給表に基づき改定し、初任給・昇格・昇給に関する規則を見直し、初任給を増額した。加算の交付時期に合わせ、昇給を7月から4月に前倒しし、月額賃金、時間外手当、夜勤手当、退職金などの増加につなげた。さらに、次期報酬改定を待たずに、介護・障がい福祉職員の賃上げ・職場環境改善支援事業が実施されたことにより、前年度比で人件費は6.5パーセント増加し、既存職員と新規入職者の双方に利益をもたらした。採用実績も向上し、派遣会社や外国人雇用依存せず、安定的に人材を確保できた。さらに、改正育児・介護休業法（令和7年4月1日・10月1日施行）にも適切に対応し、子の看護休暇や残業免除対象者の拡大、柔軟な働き方の実現を進めた。その結果、福祉人材の定着率は向上し、障がい者雇用率も高水準を維持しつつ、指定基準を上回る職員配置を確保している。

2. 虐待の根絶および病院と福祉・介護施設連携の構築に向けた教育研究

利用者の尊厳の保持に基づく虐待防止および身体拘束等の適正化の推進については、重点事項として継続的に教育を実施した。令和5年度には、救急搬送された利用者が搬送先の病院で死亡する事例が発生した。本事例では、協力医療機関から一方的に通報が行われた一方、当該医療機関から施設側への説明は一切なく、また、利用者の病歴や背景について施設側が説明する機会も与えられなかった。その結果、警察により事件性なしと判断されるまでに8か月以上を要した。この過程において、施設職員は虐待の疑いをかけられることとなり、利用者の救命に懸命に対応した結果がこのような扱いとなったことは、職員にとって極めて大きな精神的負担となった。本事例については考察を行い、令和7年12月6日に開催された第75回聖マリア医学会学術集会において、「救急搬送の後、障がい者虐待防止法に基づく通報が行われた事例の検証と再発防止策」と題して施設長が口頭発表を行った。発表後には医師から多数の質疑が寄せられ、医療機関内の会議でも問題提起したいとの意見が示されるなど、大きな反響があった。特に、聖マリア病院において、救急搬送に直接関与したスタッフ以外にも本事例の課題を共有できたことは有意義であった。また、本事例を通じて、医師法第21条に基づき、犯罪に関与する可能性のある異状が認められた場合には24時間以内に警察への届出義務が生じることから、障がい者支援施設や高齢者施設に求められる対応が極めて厳格となることを改めて認識した。今後は、より精緻な記録整備を進めるとともに、関係機関との連携強化に努めていく必要がある。

3. 安全配慮義務を最優先とした施設の老朽化した箇所の改修

平成14年の開設から20年以上が経過したケアハウスメゾンマリアにおいては、近年の線状降水帯の発生に伴うゲリラ豪雨等の影響により、壁面の剥離や鉄筋コンクリートの劣化が確認されており、早急な対応が求められる状況となっていた。このため、自然災害の頻発化への対応も踏まえ、特に緊急性の高い箇所を優先して改修工事を実施した。工事にあたっては、安全性の確保及び施設機能の維持を最優先とし、劣化が著しい北面及び東面を中心に、補修・補強工事を重点的に行った。その結果、対象箇所の修繕は計画どおり完了し、施設の安全性及び耐久性の向上を図ることができた。今後も継続的な点検及び適切な維持管理を行い、利用者が安心して利用できる環境の確保に努めていく。

4. 負担を抱える子育て家庭、ヤングケアラー等がいる家庭への家事・育児訪問支援

令和6年4月施行の児童福祉法改正に基づき、久留米市においても「子育て世帯訪問支援事業」が新たな市町村事業として開始された。本事業は、家事や子育てに対する不安や負担を抱える子育て家庭、妊娠婦、ヤングケアラー等がいる家庭を対象として、支援員が家庭を訪問し、不安や悩みの傾聴を行うとともに、家事及び子育て支援を実施することで、家庭の養育環境を整え、虐待リスクの高まりを未然に防止することを目的としている。今年度は、主としてメゾンマリアホームヘルプサービスのスタッフが支援に従事した。支援対象には、児童相談所が介入している母子世帯のケースも含まれており、家庭環境への支援を通じて、子どもの安全及び健康を守るうえで重要な役割を担っている。今後も引き続き、関係機関との連携を図りながら、本事業を継続して実施していく。

5. 協力医療機関との連携体制の構築

認知症高齢者グループホームメゾンマリア、ケアハウスメゾンマリア、障がい者支援施設ウエルフェアマリア等の福祉施設入所者の医療確保及び症状急変時等における対応について、相互の連携体制を確認するため、会議を開催し、改めて聖マリア病院と協力医療機関に関する覚書を締結した。また、聖マリア病院における対応窓口は地域医療連携室が担うことを確認した。今後発生が想定される新興感染症への対応については、感染者への具体的な対応策を含め、協力医療機関との実効性のある連携体制の構築を目的として、入所者及び入居者の現病歴等に関する情報共有会議を定期的で開催し、決定事項を確実に実施していく。

IV. 各事業における重点項目

1. 障がい者支援施設ウエルフェアマリア

令和7年度は、施設入所支援における新規入居者の減少傾向や、福祉人材の確保が困難な状況を踏まえ、6月より日中活動・生活介護事業の利用定員を50名とし、ユニットごとの定員を見直した。また、将来的な入所定員の縮小を見据え、空室を活用した短期入所の利便性向上を図り、安定的な施設経営につながることにした。

一方、入所者の高齢化が進む中、地域移行等に関する意向確認の指針を策定し、個別支援会議において必ず利用者本人が参加したうえで意向確認を行う体制を整備した。また、施設外での日中活動を希望する利用者の意向に沿い、聾唖の方が利用する事業所や精神科デイケアへの通所計画を策定・実施するとともに、送迎に対応していない事業所については当施設が送迎を担った。

災害や感染症に備えたBCPについては、炊き出し訓練、通信連絡訓練、福祉避難所訓練など多様な訓練を実施し、適宜見直しを行うとともに、全職員を対象とした理解促進研修を実施した。さらに、今年度から義務化された地域連携推進会議を施設内で開催し、町内会長、民生委員、利用者家族、成年後見人等を招き、地域に開かれた施設運営を推進するとともに、信頼関係の構築を図った。

年度途中に、厨房業務を委託している業者から、人件費高騰を理由とした大幅な値上げ要請があり、「応じられなければ撤退も辞さない」との申し入れがあった。しかし、障がい者支援施設は高齢者施設に比べて食数が少なく、経営上のスケールメリットを得にくい状況にあり、地域移行の推進に伴い、将来的な定員減少も見込まれることから、完全調理済み食品の導入に踏み切った。これにより食材費は増加したが、厨房内の職員数を増やすことなく運営できる体制を構築することができ、結果として委託契約料は若干減額することができた。利用者満足度も好調である。

ウェルフェアマリア施設入所 延べ利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	14,455	14,303	13,869	13,289	9,474

ウェルフェアマリア短期入所 延べ利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	285	230	304	235	235

ウェルフェアマリア生活介護 延べ利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	13,429	13,488	13,299	12,780	11,913

ウェルフェアマリア施設入所 平均年齢

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
男(歳)	64.2	63.2	63.8	62.2	60.0
女(歳)	59.3	59.7	60.5	61.4	52.0

ウェルフェアマリア通所 平均年齢

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
男(歳)	50.1	48.4	50.5	52.6	50.0
女(歳)	40.6	43.0	46.5	49.5	43.0

ウェルフェアマリア特定相談支援 利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
計画(人)	49	67	39	20	24
モニタリング(人)	77	64	75	36	51

ウェルフェアマリア施設入所 サービス活動収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	97,811,623	96,920,955	94,981,540	92,564,420	93,359,900

ウェルフェアマリア生活介護 サービス活動収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	150,482,176	155,514,055	154,681,800	146,788,702	149,885,036

ウェルフェアマリア特定相談支援 サービス活動収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	1,739,080	1,917,340	1,607,480	1,158,430	913,920

ウェルフェアマリア 拠点区分人件費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	135,061,557	139,418,726	136,442,654	134,471,282	144,979,258

ウェルフェアマリア 拠点区分事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	25,362,455	26,182,649	26,432,192	27,820,529	29,552,413

ウェルフェアマリア 拠点区分事務費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	33,263,496	35,093,817	32,781,160	33,911,316	37,109,432

就労支援事業収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	16,858,818	18,212,135	19,102,720	15,389,482	16,718,956

2. ケアハウスメゾンマリア

今年度は二人部屋の入退居への対応が遅れ、数年ぶりに満床を割ることとなった。市内の他施設よりも入居率は高いが、二人部屋の待機者確保は依然課題となっており、営業活動自体は実施していたものの、ニーズ自体も少ないことから、十分な確保に至らなかったことが要因としてあった。民間運営の多様な施設も増加する中、多数の施設が入居者確保に苦戦している実態もある。その点からも、営業活動に取り組みつつ、選ばれる施設として、サービス面と機能面の充実に常に取り組み必要がある。その上で、日中活動については既存活動の頻度を増やすと共に、並行して趣味活動の充実に目的に新たなクラブ活動を開始した。設備及び修繕関係では、予定通り施設半面の外壁塗装工事を実施した。開設から20年以上経過し、修繕は途切れないことが予想される。特に居室内の設備関係も著しく、入居者の生活面への影響と費用等の視点も含めて計画的に対応する。一方で、令和8年2月に大浴場内において入居者が逝去する事故が発生した。年齢や疾患等、様々な要因が考えられるが、安全な入浴環境の整備として、個々の再アセスメントの他、浴室内のチェックや脱衣所の環境整備等のルールを再設定し、ハード面では次期の早い段階で浴槽内に手すりを増設することとした。地域貢献面では、既存のキッズクラブ、iサイクルでは、入居者や一般の参加者数も増加しており、全般的にも順調に実施できた。また、地域交流の一環として、金丸小学校で開催された「かなマルシェ」へ出店し、併設事業も含め拠点全体で参加することができた。次年度以降も開催予定であるため、継続して参加予定としている。

ケアハウスメゾンマリア 初日利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	600	600	600	600	597

ケアハウスメゾンマリア施設入所 平均年齢

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
男(歳)	86.1	86.6	88.6	86.8	83.7
女(歳)	84.7	85.1	84.8	85.0	84.7

ケアハウスメゾンマリア サービス活動収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	90,051,170	91,192,078	91,191,144	93,549,161	93,875,790

ケアハウスメゾンマリア サービス区分人件費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	24,705,573	26,658,785	27,294,916	30,432,457	31,975,699

ケアハウスメゾンマリア サービス区分事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	20,346,092	24,050,501	21,450,005	23,354,124	22,704,476

ケアハウスメゾンマリア サービス区分事務費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	34,339,891	31,991,721	31,543,958	31,341,508	32,413,639

3. デイサービスセンターメゾンマリア

事業実績では、下半期から低調な状況が続く結果となった。要支援者を主とした総合事業は順調であったが、通所介護事業の新規利用者数が前年比で半減しており、延べ数も大きく減少した。年間を通して営業活動は実施しているものの、短期間では成果を得られないため、継続はもとより次年度に向けて事業所の特徴を見出すこと、それを対外的に発信する手法についても検討を重ね実践する必要がある。令和7年11月より管理者が変更となり、並行して職員配置についても見直すこととした。非常勤職員の割合を増やしたことで配置数も増加し、利用者個々に関わる時間を設けることができた。サービス面でも簡易的なアンケートの実施を促進し柔軟に取り入れたことで満足度は高かった。しかし、単発的であったことは否めず、利用者増にも繋がっていない点が課題となっている。計画していたICT化については、記録システムとケアプランデータ連携システムを導入した。多様な面で効率化を図れているが、全機能の把握には至っていないため、継続して使用することで実用化を進める。地域貢献面では、併設事業と「かなマルシェ」への参加として、利用者手作りの作品を出店した。当日までの作成期間は利用者の目標となり、役割の創出と意欲の向上にも繋がった。

デイサービスセンターメゾンマリア 延べ利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	7,200	7,406	6,660	7,335	7,415

デイサービスセンターメゾンマリア 平均年齢

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
男(歳)	82.6	83.1	83.5	82.9	84.6
女(歳)	85.1	85.4	86.2	86.7	86.1

デイサービスセンターメゾンマリア サービス活動収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	56,940,116	59,933,505	54,379,659	63,229,418	62,055,314

デイサービスセンターメゾンマリア サービス区分人件費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	41,080,635	40,625,971	36,260,161	35,925,423	39,815,252

デイサービスセンターメゾンマリア サービス区分事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	8,333,866	9,027,923	8,304,884	9,556,135	8,516,115

デイサービスセンターメゾンマリア サービス区分事務費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	4,241,135	4,591,731	4,032,187	4,411,473	4,319,682

4. メゾンマリアホームヘルプサービス（訪問介護・障がい福祉サービス）

本事業は慢性的な人材不足が課題となる中、サービス提供責任者の増員を進めたことで、安定かつ柔軟なサービス体制を築くことができた。結果、事業所の強みや特色となり、新規利用の依頼も大きく増加し、事業実績の向上にも繋がった。ただし、更なる安定化には非常勤職員の増員が必須であるため、兼務配置も含め継続して注力する。また、事業継続及び多角化の一環に向けた家事育児訪問支援事業では、「両親の介護と児童の不登校」「養育環境の不全と児童の不登校」等、利用背景は多様であり、本事業から障がい福祉サービスへの移行等も視野にした、継続的かつ横断的な支援の介入も必要となっており、相応の専門性も求められ始めている。

保険外サービス、いわゆる自費サービスの提供については、通院同行が主なニーズであったが、対応できる人員と時間が確保できず実現には至らなかった。継続して地域ニーズを把握することで、有益な資源の一つとして今後のサービス確立に繋げたい。また、ICT化が必須となる中、ケアプランデータ連携システムについては、導入事業所数が少ない中でも継続して活用できた。一方で、助成金を活用した障がい分野でのシステム導入では、採択に至らなかったため、次期も継続して申請し導入に繋げたい。

メゾンマリアホームヘルプサービス(高齢者)のべ利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	3,729	4,484	3,979	3,245	3,014

メゾンマリアホームヘルプサービス 平均年齢

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
男(歳)	81.2	81.7	81.2	81.4	81.3
女(歳)	86.4	86.1	86.4	86.3	80.8

メゾンマリアホームヘルプサービス(障がい)のべ利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	775	922	1,255	1,258	1,383

メゾンマリアホームヘルプサービス(移動支援)のべ利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	45	18	29	21	34

メゾンマリアホームヘルプサービス(高齢者)サービス活動収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	11,321,317	15,252,655	14,305,912	11,846,978	12,831,650

メゾンマリアホームヘルプサービス(障がい)サービス活動収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	6,193,020	6,944,770	10,229,020	10,416,890	11,951,078

メゾンマリアホームヘルプサービス サービス区分人件費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	12,333,159	15,045,024	19,078,053	19,095,686	21,114,188

メゾンマリアホームヘルプサービス サービス区分事務費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	1,771,951	2,776,811	1,697,699	1,952,830	1,931,881

5. メゾンマリアケアサポート

今期の延べ利用者数は前年度比で減少したが、新規利用者数は増加しており、今後も継続させる必要がある。そのためにも、現在1名体制であり、紹介元となる外部の各機関からは柔軟な受け入れが難しいとの認識が少なからずあるため、増員も含め更なる関係性作りが求められる。また、普及がスムーズに進まなかったケアプランデータ連携システムでは、導入拡大に向けた様々な取り組みの結果、徐々に広がりを見せつつある。次期からの本事業を対象とした処遇改善加算も影響していると思われ、当事業所は既に導入しており、システムとしても非常に有効であるため継続して活用する。

指定更新では、ケアマネジメント及び運営基準等について重大な指摘はなく、アセスメントやサービス担当者会議の実施状況を始め、これまでの取り組みに対して一定の評価を得ることができた。次期報酬改定を見据える中、本事業においては、自己負担の導入等、様々なことが検討されている。そのためにも、改正内容に柔軟に対応しつつ、適正なケアマネジメントを継続する必要がある。

メゾンマリアケアサポート 利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	893	886	913	701	387

メゾンマリアケアサポート サービス活動収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	9,693,470	10,207,560	10,355,660	7,896,880	4,651,830

メゾンマリアケアサポート サービス区分人件費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	11,840,292	12,176,407	12,390,854	12,251,224	6,272,426

メゾンマリアケアサポート サービス区分事務費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	264,271	300,490	70,943	199,219	71,518

6. グループホームメゾンマリア

今期の重点事業にも挙げた外部評価の受審では、各評価項目及び達成すべき目標に対し計画的に実践できた。それにより、前回に続き調査員からは高評価を受けたが、事前の家族アンケートでは、外出の頻度及び権利擁護の周知が十分ではないとの結果であった。そのため、各項目について検討しチェック機能を設ける等、確実に実施することとした。日常生活においては、要望の高い認知機能の維持に向けた音楽療法を取り入れ、併設事業所との共同活動も増やすこととした。また、個別ケアの推進として、入浴支援のあり方を検討し、個々の心身状況や意向を改めて収集した上で支援内容を見直した。

地域との関わりでは、自治会に加入したことで地域のイベント等の情報がスムーズに得られるようになり、金丸校区で開催された「かなマルシェ」に入居者も参加し社会参加を図った。その他、地域包括支援センターとおしゃべり会や保育園との交流会も継続して実施したことで、地域の一員として活動できた。また、今年度は入退居が比較的少ない状況ではあったが、家族の意向等により急遽退居となるケースがあった。想定以上の空室期間となったため、今後は待機者の意向確認等の頻度を増やし、常に最新の情報を把握する。

グループホームメゾンマリア 利用者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数	216	212	211	213	216

グループホームメゾンマリア サービス活動収益

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	86,803,487	86,889,920	87,663,281	89,831,034	89,956,727

グループホームメゾンマリア サービス区分人件費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	61,412,493	64,855,727	64,294,974	65,352,847	73,568,582

グループホームメゾンマリア サービス区分事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	10,885,838	10,936,747	10,247,805	11,038,295	11,191,721

グループホームメゾンマリア サービス区分事務費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額(円)	3,879,389	4,301,110	3,985,936	4,803,966	4,482,920

V. 役員・評議員(令和8年3月31日現在)

◇理事/定数6名 現員:6名 任期(自)令和7年6月27日(至)令和9年6月定時評議員会

区分	氏名	初回就任日	主な現職等
理事長	井手 信	平成16年7月17日	社会福祉法人平和の聖母理事長
理事	泉 賢祐	令和7年6月27日	聖マリア研究センター医療プラクティス研究ユニット長
理事	岩崎充孝	平成21年4月1日	NPO法人岡田武彦記念館秋月書院關雎學舎専務理事
理事	坂西信平	令和6年3月26日	坂西内科・小児科医院医師
理事	下川雅文	平成27年6月1日	ウェルフェアマリア施設長
理事	宮原良治	令和5年6月23日	カトリック福岡司教区名譽司教

◇監事/定数2名 現員:2名 任期(自)令和7年6月27日(至)令和9年6月定時評議員会

区分	氏名	初回就任日	主な現職等
監事	泉 道廣	令和6年3月26日	元福岡県監査指導監
監事	中島俊則	令和5年6月23日	社会福祉法人聖嬰会理事長

◇評議員／定数7～9名 現員：7名 任期（自）令和7年6月27日（至）令和11年6月定時評議員会

区分	氏名	初回就任日	主な現職等
評議員	石井和弘	平成24年4月1日	学校法人聖マリア学院法人本部事務局長
評議員	川嶋ハルミ	平成21年4月1日	久留米市金丸校区社会福祉協議会相談役
評議員	重石 悟	令和7年6月27日	久留米市社会福祉協議会常務理事
評議員	寺浜亮司	平成25年5月16日	吉塚・南粕屋カトリック教会主任司祭
評議員	平田牧男	令和6年2月7日	社会福祉法人慈愛会理事長
評議員	松下 航	平成29年4月1日	相談支援事業所風と虹主任相談支援専門員
評議員	渡辺 透	平成13年5月16日	元聖マリア病院職員

VI. 法人運営

1. 理事会の開催

実施月	議案等	出席者
6月5日	第1号議案 令和6年度事業報告（議決数／過半数） 第2号議案 令和6年度監事監査報告および決算（議決数／過半数） 第3号議案 令和7年度第一次補正予算（議決数／3分の2以上） 第4号議案 令和7年度定時議員会の日時・場所及び議題等（議決数／過半数） 第5号議案 任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦（議決数／過半数） 第6号議案 任期満了に伴う評議員候補者の推薦（議決数／過半数） 第7号議案 諸規程の改正（議決数／過半数） 第8号議案 理事長の職務の執行状況報告（令和7年3月～令和7年5月）（報告事項）	理事5 監事2
6月27日	第1号議案 理事長の選定（議決数／過半数）	理事6 監事2
9月4日	第1号議案 デイサービスセンター管理者の変更（議決数／過半数） 第2号議案 平和の聖母における食事提供体制（議決数／過半数） 第3号議案 規則および規程の改訂等（議決数／過半数） 第4号議案 理事長の職務の執行状況報告（令和7年6月～令和7年9月）（報告事項）	理事6 監事2
10月30日	第1号議案 令和7年度上半期経理実績（報告事項） 第2号議案 令和7年度第二次補正予算（議決権／3分の2以上） 第3号議案 規程の制定および改正（議決数／過半数） 第4号議案 令和7年度第1回臨時評議員会の日時・場所及び議題等（議決数／過半数）	理事6 監事2
3月12日	第1号議案 令和7年度第三次補正予算（議決権／3分の2以上） 第2号議案 令和8年度事業計画（議決権／3分の2以上） 第3号議案 令和8年度予算（議決権／3分の2以上） 第4号議案 規程等の改正（議決数／過半数） 第5号議案 令和7年度第2回臨時評議員会の日時・場所及び議題等（議決数／過半数） 第6号議案 理事長の職務執行状況報告（報告事項） 第7号議案 社会福祉法人役員等賠償責任保険契約（議決数／過半数）	理事6 監事2

2. 評議員会の開催

実施月	議案等	出席者
6月27日	第1号議案 令和6年度事業報告（報告事項） 第2号議案 令和6年度監事監査報告および決算（議決数／過半数） 第3号議案 令和7年度第一次補正予算（議決数／過半数） 第4号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任（議決数／過半数） 第5号議案 評議員選任・解任委員会の結果（報告事項）	評議員6 理事2 監事2
11月7日	第1号議案 令和7年度上半期経理実績（報告事項） 第2号議案 令和7年度第二次補正予算（議決権／過半数） 第3号議案 理事会における決定事項（報告事項）	評議員7 理事2 監事2
3月24日	第1号議案 令和7年度第三次補正予算（議決数／過半数） 第2号議案 令和8年度事業計画（議決数／過半数） 第3号議案 令和8年度予算（議決数／過半数）	評議員7 理事2 監事2

3. 監事監査

実施月	内 容	開催地	出席者
5月27日	令和6年度決算に係る監事監査	メゾンマリア	監事

4. 評議員選任・解任委員会

日時	内 容	開催地	出席者
6月25日	評議員選任・解任委員会	メゾンマリア	選任委員

5. 第三者委員への苦情解決に関する報告会および虐待防止に関する専門家の意見

日時	内 容	開催地	出席者
2月12日	第三者委員からの意見・助言	メゾンマリア	第三者委員

6. 法人運営管理委員会

実施月	内 容	開催地	出席者
毎月	法人運営管理委員会	メゾンマリア	運営管理委員

7. 法人事務

日時	内 容	場 所	応対者
4月12日	処遇改善加算計画書提出	久留米市	施設長
5月14日	消費税の電子申告完了	久留米税務署	箕田税理士
5月31日	計画相談支援・更新指定通知書受理	障がい者福祉課	久留米市
6月6日	高年齢者及び障がい者雇用状況報告	ハローワーク	事務局長
6月6日	経済構造実態調査	オンライン	事務局長
6月6日	相談支援事業所ウェルフェアマリア運営規程変更届提出	障がい者福祉課	次長
6月6日	障がい者支援施設ウェルフェアマリア運営規程変更届提出	障がい者福祉課	次長
6月25日	障がい福祉サービス等情報公表の提出・承認	オンライン	次長
6月28日	財務諸表公表制度書類アップロード	オンライン	事務局長
6月29日	福祉医療機構事業報告アップロード	オンライン	事務局長
6月30日	資産総額変更登記	福岡法務局	事務局長
7月1日	公益法人等の損益計算書等の提出	久留米税務署	事務局長
7月2日	理事長重任登記	福岡法務局	事務局長
7月2日	役員変更届提出（介護保険）	介護保険課	管理者
7月3日	役員変更届提出（障がい福祉サービス）	障がい者福祉課	次長
7月20日	障がい福祉サービス集団指導受講（相談）（youtube）	久留米市	管理者
7月20日	障がい福祉サービス集団指導受講（施設）（youtube）	久留米市	施設長
7月21日	障がい福祉サービス集団指導受講（居宅）（youtube）	久留米市	管理者
7月29日	障がい福祉サービス等処遇改善加算実績報告提出	オンライン	事務局長
7月29日	介護職員処遇改善加算実績報告提出	久留米市	管理者
8月25日	令和7年度介護保険サービス集団指導受講（youtube）	久留米市	管理者
8月25日	令和7年度中小企業最低賃金引上げ支援対策費補助金交付申請	福岡労働局	事務局長
9月30日	介護保険事業集団指導受講（居宅介護支援）（youtube）	久留米市	管理者
1月4日	教会現勢報告調査票提出	福岡教区事務局	事務局長
1月5日	給与支払報告書提出	各市町村	事務局長
1月13日	給与所得の源泉徴収票等の法定調書提出	久留米税務署	事務局長
2月5日	令和7年度中小企業最低賃金引上げ支援対策費補助金実績報告	福岡労働局	事務局長
2月18日	介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業計画書提出	オンライン	事務局長
3月24日	障がい福祉サービス等情報公表（経営情報）の提出・承認	オンライン	事務局長

Ⅶ. 経営指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
サービス活動収益	510,769,507	524,584,620	519,171,578	517,108,253	519,265,545
サービス活動増減差額	38,063,145	32,545,983	33,220,583	23,888,576	2,335,081
経常収益	519,614,610	538,316,127	531,423,621	521,093,025	530,220,751
経常増減差額	46,257,185	45,967,698	45,330,544	27,759,826	13,205,325
人件費	286,433,709	298,780,640	296,560,125	298,257,269	317,725,405
事業費	64,928,251	70,197,820	66,434,886	71,769,083	71,964,725
事務費	77,557,953	78,920,730	76,623,858	78,075,600	80,103,372
減価償却費	47,824,654	47,168,641	48,361,405	48,467,782	50,812,100
国庫補助金等取崩額	△ 20,012,614	△ 19,605,968	△ 19,605,968	△ 19,605,464	△ 19,628,414
支払利息	651,063	309,792	142,082	113,522	84,962
事業活動資金収支差額	75,630,184	65,576,208	74,826,337	55,228,558	49,334,962
資産総額	1,529,285,808	1,555,647,534	1,581,372,110	1,589,526,469	1,583,103,377
社会福祉充実残額	△ 209,600,000	△ 203,820,000	△ 196,090,000	△ 219,040,000	△ 294,430,000
業務委託費	45,363,785	45,585,710	45,652,920	45,753,790	48,253,122
消費税納税額	566,500	598,200	650,100	510,100	506,500
障がい者雇用率	3.79%	3.62%	3.65%	4.07%	5.83%

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	平均値 2024年度	中央値 2024年度
人件費率	%	56.1%	57.0%	57.1%	57.7%	61.2%	66.8%	70.6%
(人件費+業務委託費)率	%	65.0%	65.6%	65.9%	66.5%	70.5%	71.1%	74.0%
事業費率	%	12.7%	13.4%	12.8%	13.9%	13.9%	15.0%	12.0%
事務費率	%	15.2%	15.0%	14.8%	15.1%	15.4%	10.5%	8.4%
減価償却費率	%	5.4%	5.3%	5.5%	5.6%	6.0%	6.6%	6.0%
サービス活動増減差額率	%	7.5%	6.2%	6.4%	4.6%	0.4%	1.82%	1.88%
経常増減差額率	%	9.1%	8.8%	8.7%	5.4%	2.5%	2.05%	2.14%

Ⅷ. 地域貢献活動

1. 地域活動

日時	内容	場所	人数
6/1	久留米市都心部道路美化キャンペーン	三本松公園・久留米市内	2
10/12	野添町内会 秋祭り 模擬店出店	野添公民館	3
10/12・25・26	作品出品 ポスター展示	野添公民館・上津校区会館	—
10/16	地域連携推進会議	ウェルフェアマリア	12
11/16	かなまるシェ	金丸小学校	—
12/7	点字聖書をアルバの会に寄贈	カトリック山鹿教会	2
毎月	キッズクラブ(子ども食堂)	メゾンマリア	—
隔月	ゆうゆうサロン	メゾンマリア	—
隔月	おしゃべり会	メゾンマリア	—
毎月	くるめクリーンパートナー	久留米市上津町・津福本町	—

2. 実習等受け入れ

期間	事業所	依頼元	内容	人数
6/12～6/13	グループホーム	九州大谷短期大学	専攻科介護実習Ⅰ	2
7/1	メゾンマリア	ザビエル大学(フィリピン)	視察	12
7/11	メゾンマリア	久留米高等技術専門学校	見学実習	23
7/25	ウェルフェアマリア	久留米高等技術専門学校	在宅サービス提供現場見学実習	23
9/1～9/5	ウェルフェアマリア	福岡県社会福祉協議会	介護等体験実習	1
9/1.9/3	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
9/9～9/12	ホームヘルプサービス	久留米高等技術専門学校	訪問介護実習	2
9/9～9/12	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	6
9/24～9/25	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	3
9/29～9/30	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	3
9/29.10/1	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
10/6～10/10	ウェルフェアマリア	福岡県社会福祉協議会	介護等体験実習	1
10/7～10/10	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	6
10/1～10/15	デイサービスセンター	雇用支援センターあゆむ	現場実習	1
10/15.10/17	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
10/21～10/24	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	6
10/27.10/29	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
10/31	メゾンマリア	ハローワーク	見学説明会	3
11/5～11/7	ウェルフェアマリア	久留米高等技術専門学校	障がい者支援施設実習	3
11/5～11/7	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	7
11/5.11/7	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
11/17.11/19	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
11/18～11/21	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	6
11/26.11/28	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
12/1.12/3	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
12/2～12/5	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	6
12/9.12/18.12/25	ケアサポート	聖マリア学院大学	在宅看護実習	2
12/15.12/17	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
12/18～12/19	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	3
12/18～12/19	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	3
1/14～1/16	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	7
1/15	メゾンマリア	仁川カトリック大学	見学実習	16
1/16.1/22	ケアサポート	聖マリア学院大学	在宅看護実習	2
1/19.1/21	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
1/29～1/30	メゾンマリア	ザビエル大学(フィリピン)	見学実習	40
2/1～2/4	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	6
2/2.2/4	グループホーム	聖マリア学院大学	適応促進慢性期実習	10
2/17～2/20	デイサービスセンター	聖マリア学院大学	在宅看護実習	6

3. ふくおかライフレスキュー

日付	開催場所	内容
7月1日	久留米市総合福祉センター	ライフレスキュー久留米連絡会 第1回定例会(通常総会)
8月19日	久留米市総合福祉センター	ライフレスキュー久留米連絡会実行部会 第2回定例会
9月25日	久留米市総合福祉センター	ライフレスキュー久留米連絡会 第2回定例会
3月5日	久留米市総合福祉センター	ライフレスキュー久留米連絡会実行部会 第3回定例会

4. iサイクル作業会 (メゾンマリア地域交流スペースで毎月第2木曜日に開催)

メゾンマリア地域交流スペースで毎月第2木曜日に開催している「iサイクル作業会」の活動が、市民活動サポートセンターみんくる発行の「わっしょい! 市民活動くるめ」に掲載されました。

iサイクルは、「i(私)が始めるリサイクルで、人と環境に“愛”を循環(サイクル)させる」という想いから名付けられました。地域の小・中・高校、大学、企業、ボランティアが協力し、手作業による分別活動を行っています。資源の有効活用だけでなく、子どもたちの環境意識や思いやりの心を育むことも目的としています。

集められたペットボトルキャップは、単にごみを減らすだけではなく、環境保全と国際協力の両面で社会に還元されています。回収されたキャップは専門業者へ売却され、植物用プランターなどのプラスチック製品へと生まれ変わります。また、キャップの売却益(目安:40個で1円、200個で10円など)の100%は、ISAPH(アイサップ)などの国際協力団体を通じて、フィリピン、ラオス、マラウイなどアジア・アフリカの開発途上国における医療支援や地域づくりに役立てられています。

市民活動がスキになる情報誌

WASSHOI!

わっしょい! 市民活動 くるめ

vol.7
2025

- 活動団体クローズUP -

iサイクル

- 市民活動 Sign me up! -

- ・第2回 わっしょい! 2025 開催レポート
- ・ヨカゴツこんさる-NPO経営の専門相談会-

Kurume Civic Activity Support Center

わっしょい! 市民活動 くるめ



地域で活躍する団体の皆さんにインタビュー! 活動の魅力や裏側のエピソードをお届けします

- 活動団体クローズUP -

「私」から始める、愛と思いやりの循環。

～ ペットボトルキャップでつなぐ、地域の居場所と国際協力 ～

「iサイクル」

iサイクルさんは、ペットボトルキャップの回収を通じて海外支援を行っている、草の根の国際協力団体です。寄付金は、ラオス・マラウイで活動するISAPHや、フィリピンのカノッサ修道会を通じて、現地のお母さんと子どもたちの健康支援に役立てられています。代表の 坂西 信平 さんにお話を伺いました。



月に一度の作業会が
様々な方が参加
しています



楽しい分別作業が
しんどいながらも良し
もくもくとするも良し
安心できる場です

自然と広がった協力の輪

「クマの形をした透明な容器にキャップがたくさん入っているのを、偶然見かけたんです」

と、目をキラキラさせて話す坂西さん。職場で一人でキャップの洗浄を始めたところ、「清掃の方やスタッフたちが、何も言わずに協力してくれるようになり、『これは意味がある作業だな』と確信しました」

活動が広がると、キャップを送る際の送料が課題に。この課題を解決するため、2010年に団体を設立しました。

リサイクル業者や運搬会社を探し、想いを込めたメールを送ったり、直接会いに行ったりとした地道な活動が実を結び、現在に至ります。

協力してくれる方が少しずつ増えていき今の形があります



用途を終えたキャップが思いやりのパトロンに

作業会では、キャップをただ分別するだけでなく「今回の個数で〇〇円になりました」と参加者さんに報告しています。「集めて終わりじゃなく『その先がどうなっているのか』を知ること、活動に想いがこもる。だからキャップを『思いやりのパトロン』と呼んでいます。」iサイクルが集めているのは、リサイクル可能な資源。「洗って仕分ける」という「面倒くさい作業」を通して、気持ちや行動、意識を変えていくことも、この活動の大切な目的の一つです。

キャップ、何に変わる?

キャップの色そのままの色のプランター

大牟田市小学校で実際に使用されている机の引き出し

活動実績
総数: 43,254,698個
寄付総額: 171万3733円

ありがとうの循環が生まれる地域の居場所づくり

iサイクルの作業会は、地域に開かれた活動の場となっています。また、海外の支援先と随時オンライン交流を行い、活動の成果と感謝を分かち合っています。坂西さんは、この作業会を「ありがとうの循環が生まれる居場所」だと語ります。

「普段、ケアされる立場になりがちですが、ここでは主体的に参加し作業することで、周りの人から「助かるよ、ありがとう」と声をかけられる。また、支援先のことたちが元気に育っている様子や喜ぶ姿を見て、僕らも心からの「ありがとう」をたくさんもらう。だから、関わる人たちはみな対等な関係で、お互いにたくさん学び合い、ありがとうの循環が生まれているんです。」

iサイクルさんの活動は、誰でも気軽に参加できる国際協力です。ひとつのキャップが誰かの笑顔につながる、その一歩を踏み出してみませんか。

iサイクル 作業会

毎月第2木曜日 17:30-18:30
場所: ケアハウスメゾンマリア2階
(久留米市津田本町字巻276-2)
メール: 2010icycle@gmail.com

活動の様子や今後の予定はこちら



iサイクルは、毎月第2木曜日にメゾンマリア2階で作業会を行っています。作業会では、集まったキャップの分別や、支援先の方との交流会をしています。皆さんが集めたキャップは、ぜひこの作業会の日に持ちください。作業会に参加できない方は、メゾンマリア1階にある回収場所をご利用ください。

特定非営利活動法人ISAPH

ラオス・マラウイ

支援金を妊婦健診や、低体重児の栄養支援など、母子保健の充実・施設の修繕・建設費などに充てています。



カノッサ修道会

フィリピン

支援金を粉ミルクの購入に充てています。



わっしょい! MEMO

サイクルを「きっかけ」に、身の回りでできるリサイクルや国際協力、地域活動に興味を持ってもらいたい、という坂西代表の言葉が印象的でした。